

多感覚セッション

多感覚セッションとは、

音楽療法を主体とした、運動療法や芸術活動等を活用した活動で、人の「感性」「表現」の領域に働きかけることで自分の「生」を感じ、相手と向かい合いながら、人とのコミュニケーションの中で楽しみを広げることを目指します。

セッションは、日本音楽療法学会認定 音楽療法士 が担当します。



広くて明るい、施設内 音楽室♪
楽器もたくさん!!

向陽の里 多感覚セッションでは、中島恵子氏の提唱する
Co-Musictherapyという考え方を基に
セッションを行っています。

Co-Musictherapyとは…

セラピストが音・音楽を多感覚（聴く、見る、触れる、動く、感じる、考えるなど）に捉え、それをセラピストの感性により、対象者が楽しめる形で提供します。その中で対象者が自分や他者と「出会い」、互いの関係性から互いの生を「保障」し、音を様々な設定で楽しみ、音楽を創造していきます。それを楽しむ過程に伴う発達を軸に、豊かな『生』へ向けて音・音楽を機能させていく音楽療法の技法です。

どうして？

多感覚セッションが コミュニケーション に着目するのか？

それは…

人はどんな障がいを持っていても「人に伝えたい」「人とつながりたい」という気持ちを持っています。しかし、障がいが多いほどそれをうまく実現することが難しくなります。人によっては、失敗の経験から積極的に繋がりを持つことをやめてしまう人もいるかもしれません。

多感覚セッションでは、感性や表現の領域にアプローチすることで、コミュニケーションを楽しめるように支援します。気持ちが動き「人とつながれた」と実感する時、それは人が「生きている」と実感する時だと私たちは考えています。

自分を表現し、人とつながり、生きていると実感することを通して、「豊かな生」に向かうことを支援していきます。



活動の実際

例えば、軽快なリズムの曲を聴いていると自然と体が動いてきませんか？ 人と音楽は遠い昔から、ごく自然な結びつきがあります。そして「気持ち」と「からだ」も密接に繋がっています。

音・音楽を意図的に使うことで、コミュニケーションや心身の持つ表現のバリエーションの広がりを目指します。

プログラミングでは、活動に波を創り（精神活動・身体活動の波）最大に力が発揮できるようにしています。

個別に応じた配慮

一人一人の個性を大切に考えています。

- 個別目標の設定（それに沿った活動を行います）
- 障害特性への配慮（活動内容の視覚化など）
- メンバー編成（個人の力が発揮できるように配慮します）
- 個別セッション・グループ編成（必要に応じて設定します）

- ↓
- ・個別セッション
- ・小グループセッション（6名程度）
- ・大グループセッション（30名程度）

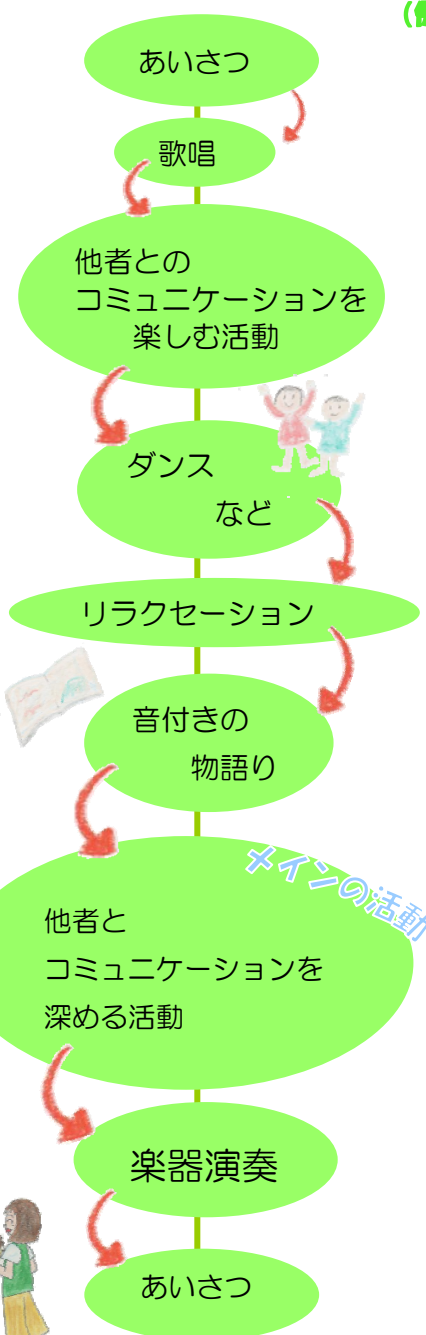
活動のぞき見！

打楽器即興演奏

‘ドン’と鳴らした音に‘ドン’と答える。そこにリズムが生まれ、メロディが加わり…会話をするように音を鳴らしながら、一緒に即興で音楽を創っていきます。



活動の流れ (例)



音・音楽を使うこと

タイコを一打 ‘ドン’ と叩いた人の気持ちは何となく相手へ伝わると思いませんか？ 怒った時の音ってどんな音でしょう？ 嬉しい時の音は？

音・音楽は、人の気持ちを映す「手段」としてとても便利なものです。（瞬間で実現する・芸術として表現の広がりが無限である、など）



活動のいろいろ

多感覚セッションでは、身体機能維持の活動を必要としながらも、通常のリハビリでは気持ちが乗りにくい方たちにも活動を提供しています。

また、芸術活動の一環として、屋内外での作品作りを行い、それをギャラリー（年1回）として紹介する場を設けています。

作品作り

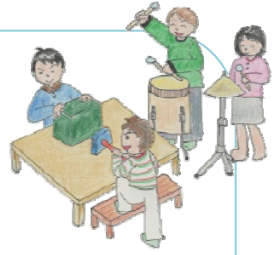
音・音楽を聴いてそのイメージを描く「音絵」や、屋外に出向き、季節を感じて作品を作るなど、さまざまな芸術活動を行っています。西都原公園でのコスモス写生は恒例となり、とても喜ばれています。



ギャラリー



気持ちが動けば
からだも動く！！



「新しいリハビリ」の形！！

動きのプログラム

PT（理学療法士）と連携して作成しました。身体機能の維持や広がりも、音・音楽を活用し、コミュニケーションを楽しみながら、自然な形で実現していきます。

コンサートの開催

多感覚セッション対象者の、発表の場を年に2回設けています。

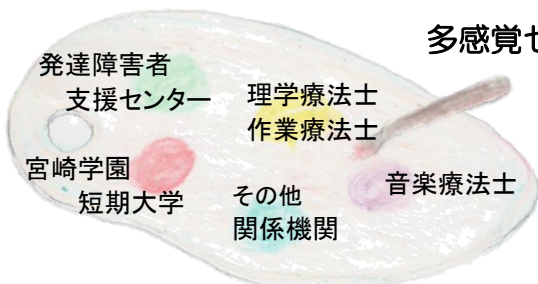
- ・園内コンサート（6月）
 - ・「向陽祭」でのステージ発表（11月）
- アンサンブルを主とした活動をされている方を中心に発表しています。

実践・連携について

多感覚セッションでは、以下の4つの時間帯でセッションを毎日（土日祝除く）行っています。また、事前のお問い合わせがあれば、随時見学等にも応じています。

午前		午後	
AM ①、②	PM ③	PM ④	PM ⑤
10:00	13:30	15:00	16:00
～	～	～	～
11:00	14:30	16:00	16:20

多感覚セッションは、さまざまな業種・施設と連携して行っています。



- ・音楽療法士
- ・発達障害者支援センター
- ・宮崎学園短期大学 山下恵子教授
- ・こども音楽センター（山口県） 中島恵子氏
- ・作業療法士（月2回）、理学療法士（随時）
- ・その他関係機関 など